

関口存男 没後 60 年 『存在の男』展

2018年は関口存男の没後60年にあたります。そこで三修社は、ドイツ語学者であり、教育者であり、翻訳者であり、演劇人であり、父親であり…、そんな関口存男の魅力を味わっていただきたく、2018年4月より1年間の予定で、『存在の男』展を開催いたします。

今回の展示では、曾孫である関口純氏のご協力により、手書きの原稿、イラスト原画、愛用品などの資料に加え、住まいのあった「目白文化村」や疎開先「妻籠」での演劇活動なども取り上げる予定です。関口存男の研究者はもちろん、今回の展示ではじめて関口存男を知る方も楽しめる展示を目指しています。ぜひお立ち寄りください。

第1弾「関口存男と三修社」

2018年4月3日（火）～6月29日（金）予定

【場所】GLOCAL CAFE

<https://glocalcafe.jp/>

東京都港区北青山2-10-29 日昭第二ビル 1F

東京メトロ銀座線 外苑前駅 3番出口より徒歩5分

【時間】平日 9:00～19:00、土日祝 13:00～19:00

*期間中に会場の貸切等でご利用いただけない場合がございます。
カフェサイト「Space」ページ <https://glocalcafe.jp/space/> の
カレンダーをご確認の上、ご来場ください。

【お問い合わせ】株式会社三修社

電話番号 03-3405-4511

メールアドレス mail@sanshusha.co.jp

今後の予定

第2弾「関口存男と演劇」2018年7月～9月

第3弾「関口存男と社会活動」2018年10月～12月

第4弾「家庭人としての関口存男」2019年1月～3月